

文化・芸術の秋、10月18日(土)には東通中学校文化祭が、24日(金)にはこども園ひがしどおりで音楽発表会が、25日(土)には東通小学校学芸会が開催されました。それぞれが趣向を凝らした発表で、幼・小・中いずれの会場でも感動を呼びました。

東通中学校文化祭

中学校では、演劇や吹奏楽部による演奏だけではなく、モザイクアートの披露、弁論や英語スピーチ、海外研修報告会が行われました。

吹奏楽部の発表では、引退する3年生や新たに顧問となった先生方へ感謝の言葉と花束が贈られ、感動の演奏となりました。

恒例の合唱コンクールでは、各学年各クラスが生徒自身による伴奏と指揮を行い、クラスごとに特色のある歌声で競い合いました。

校内では委員会・部活動や技術・家庭科の授業で制作した作品の展示もあり、生徒の普段の活動も垣間見える文化祭でした。



東通小学校学芸会

東通小学校学芸会は、1年生の元気いっぱいの「はじめのあいさつ」で幕が上がりました。

各学年は普段は2～3のクラスに分かれています。この日は1つの学年として、音楽・ダンス・劇・ストンプ(体や道具を使ってリズムを奏でる)を披露しました。

最後の発表となった6年生の劇「おかあさんの木」では、戦争をテーマにした迫真の演技が涙を誘い、訪れた保護者や地域の方々も、目を潤ませながら会場を後にしました。

児童がそれぞれの役割で一生懸命1つの作品を作り上げている姿に、会場は終始、暖かな雰囲気にも包まれていました。

こども園ひがしどおり音楽発表会

こども園ひがしどおりでは4・5歳児がステージに立ち、保護者の方々をはじめ観客の皆さんに立派な姿を見せました。

今年は「アナと雪の女王」や「パイレーツ・オブ・カリビアン」の楽曲などディズニー特集。非常に難しい楽曲とのことでしたが、園児たちは1ヶ月という練習期間で見事なステージを作り上げました。

5歳児は自分の体ほどもある楽器を見事に操り、4歳児は映画の主人公になりきって元気いっぱいの歌を披露しました。

アンコールでは5歳児の演奏に乗せて4歳児が合唱し、園児たちの迫力ある発表に歓声が沸き起こりました。

